

かんじやと医療

第
60
号

発行所

全国患者団体連絡協議会

東京都新宿区下落合3-15-29
〒161 田沼ビル
電話 03(952)5340

郵便振替東京2-4152

購読料 1部110円 6カ月分660円



全患連第6回定期大会

おもな記事 大会特集号

第六回定期大会	二面
特別決議	三面
新役員・大会宣言	四面
決算・監査報告・予算	五面
郵便・健保で国会要請	六面
運動の交流広場	七面

公費医療に関する行管勧告

ことし一月に行政管理局が厚生省にたいして行なったもので、昨年四月から七月の間に厚生省、地方自治体、支基金、医療機関などを対象に実施した監査報告をもとに、医療費公費負担事業の「基本的な見直し」を要求しています。この勧告の中で行管庁は①結核医療等の再検討②公費優先適用事業の再検討③所得制限の実施及び基準の整序④など「公費負担事業の体系の見直し」をせよと求めています。この勧告にたいし厚生省は何らかの回答をすることを義務づけられていますが、現在まで回答は出されていません。予算編成にむけての動向に注意を払う必要があります。

ひとくち辞典

福祉切り下げを阻止し、国際障害者年の成功にむけて

新たな前進をちかう 全患連第6回定期大会



大会であいさつする長代表幹事

全患連第六回定期大会は十一月二十三日、小春日和にめぐまれた一日、臨時国会を大詰にした緊迫した状況の中でひらかれました。大会には役員と全加盟団体からの代議員あわせて六十五人が参加し、八〇年度の一般活動報告、会計報告、会計監査報告を承認したあと、八一年度の運動方針を一部補強し、予算案の一部修正のあと全員一致で採決されました。つづいて「健保・公費改悪ならびに郵便料の値上げ反対」の特別決議を採択し、スエーデンの患者団体からのメッセージが披露され、その返礼のメッセージを決めました。また、新役員を選出して大会宣言を採択して、盛大のうちに新たな前進を確認して大会は終了しました。

ますます大きくなる
全患連の果たす役割
おさ代表
あいさつ

全患連第六回定期大会は十一月二十三日、東京・新宿農協会館で午前十時三十分から午後四時半まで六十五人の役員、代議員が参加してひらかれました。会議は矢崎(全国心臓病の子供を守る会)さんの司会ではじめられ、議長小林義雄氏(日患)を推したあと議事がすめられました。

全患連の長(日患)代表幹事は「五十六年度予算概算要求の特徴として、福祉予算を削って軍事費をふやそうとしている。こうしたきびしい中で全患協の長たちが長い間要求してきた、長島架橋実現を園田厚生大臣に約束させたことや、また国際障害者年をまえに政府は郵便料の値上げ案を国会に提出してきました。これに全患連はいち早く

反対にとりくみ、第三種料金のすえおきを衆・参両院の各党議員に『健保改悪反対』とともに申入れてきました。国際障害者年にむけては、内部障害者の要求をこりあげてくれるように総理府担当室、厚生省更生課に申し入れ、その機会をもつことを約束させてきました。これらにみられるように全患連の果たす役割はますます大きくなっている」とあいさつしました。

つづいて日本医協議長松本道広、日本医療社会事業協会長代理大野勇夫、日本共産党衆議院議員中路雅弘、全国難病団体連絡協議会代表佐藤エミ子さんから「全患連の要求を支持し、その実現のためにともにとりくみます」と力づよい激励のあいさつをいただきました。

個人の加盟も配慮を

長島架橋支援に感謝

の議員
言発
主な

八〇年度の一般活動報告を舌川事務局長代行が報告し、会計監査報告を本多財政部長が、会計監査報告を村瀬豊子さんがそれぞれ報告しました。これにたいしの発言がありました。

①財政の民主的運営の問題ををふくむ発言がおこなわれ、このこととはどういふことか②

これらにたいして古川事務局長代行が答えたあと、一般活動報告と会計報告、会計監査報告を承認しました。

これらにたいして古川事務局長代行が答えたあと、一般活動報告と会計報告、会計監査報告を承認しました。

国際障害者年にむけ

統一要求をまとめる

運動方針をきめる

「わたしたちをめぐって」(き)る(て)、「③結核などの公費医療(情勢)と八一年度の要求と運動の改善反対の十一月二十八日の日患同盟の厚生、大蔵省交代幹事が提案しました。これにたいして、多くの代議士からせきよくの意見が出され、①このし重点を一つ追加すること、②国際障害者年にむけて統一要求を早急にまとめました。

医療内容の改善向上

重点要求8項目に

このし重点要求に、富士見産婦人科病院にみられる医療荒廃を患者としてみすごすことができない、医療荒廃への警告もふくめて医療内容の改善、向上を入れるべきではないか、日患、心臓病の子供を守る会、また、国際障害者年にむけて内部障害者の種年の要求である国鉄運賃の割引と有料道路の割引をきみとめざるべきではないか(日患、心臓病の子供を守る会)などの意見が出され、つぎのよう(1) 公費医療制度と健保法の改善に反対します。(2) 国際障害者年にむけて内部障害者の要求を表現させましょう。(3) 生活できる年金水準に引き上げさせ、各年金制度ごとにことなる障害等級を改善しながら民主的に改正させましょう。(4) 福祉の切り下げに反対し、軍事費を削って社会保障予

- 算を増額させましょう。
- 上に反対しましょう。
- 労働災害、職業病の総合的な補償制度の確立を要求しましょう。
- 医療内容の改善向上と患者の権利を確立させましょう。
- 国鉄運賃、有料道路の割引を内部障害者にも適用させ、物価や公共料金の値上げに反対しましょう。
- 長島架橋を実現させましょう。

健保・公費・郵便で特別決議と行動提案

日患同盟と心臓病

こんどの運動のすめかたに「健保改善についで、結核など公費医療制度の改善がすめられている。十一月二十八日に全国代表による厚生省、大蔵省交渉を予定している。この行動の成功を全患連として支援してもらいたい」と訴えの文書を配布して提案(日患・佐々木)がおこなわれました。ついで

事務局次長を二人に

全腎協に事務局移す

事務局の体制強化

全患連の「組織、財政強化」の在り方を検討してきた「全患連組織、財政展望委員会」の目的を、新しい方針にいかすために「事務局体制の確立」各団体の運動の発展に役立つ会議

健康保険と公費医療改善ならびに郵便料値上げに反対する決議

臨時国会では、いま健康保険法の改悪案と郵便料金値上げ法案の審議が、参院で最大の山場を迎えています。もし、この改悪案が参院で可決されるならば、わたしたち患者と患者団体にとって重大な事態となるでしょう。健康保険の改悪案は、わたしたちや医療関係団体、労組の反対運動により、当初の政府案や四党合意案を修正させてはきましたが、初診時一部負担八百円、入院時負担一日五百円、そして保険料の大幅アップの内容は、いぜんとして患者や被保険者に負担をおしつけ、受診抑制をねらう大改悪案であることにかわりありません。

また、健康保険の改悪は公費医療全面改悪への道をあけることであり、不当にも大蔵省は、来年度予算で結核公費医療を保険優先にする方針を固めています。いっぽう郵便料の値上げは、患者や障害者団体が日常におこなっている通信、連絡等の諸活動に深刻な影響をおたえるものです。また、第三種の値上げをゆるすならば、機関紙誌の発行そのものに重大な支障をきたすでしょう。政府は、国際障害者年を前に患者・障害者の知る権利、知らせる権利を奪いとりとうとするのでしょうか。病気を治す権利を奪う健康保険・公費医療の改悪とともに断固として反対しなければなりません。

みなさん、臨時国会の会期もあと数日となりましたが、患者が安心して病気が治せる、また、患者団体の機関紙誌の発行も支障をきたさない展望をきりひらくため、最後まで反対運動を強めましょう。右、決議します。一九八〇年十一月二十三日 全国患者団体連絡協議会第六回定期大会

れ、つきのようにきまりました。局の担当をお願いすることが全
 ①事務体制は事務局長一名、員一致できまりました。
 次長三名とし定期的に会議をひ
 これにたいして、全腎協小林

らき、企画、要求の実現方法、事務局長は幹事会に報告し期待
 機関誌の定期発刊について検討
 にこたえられるようにすると発
 言し、とくに各団体の協力を要
 請しました。これに全参加者が
 拍手でこたえました。

このあと別項のような新役員
 を選び、今年度かぎりで退任す
 る鈴木前代表幹事、本多会計の
 あいさつがあり、大会宣言を採
 択して、国際障害者年について
 の新たな前進を確認しあつて閉
 会となりました。

運動の着実な発展と他の患者
 団体との交流、統一の推進、と
 くに新しい患者運動の豊富な
 経験をもつ全腎協に全患連事務

新役員名

- 代表幹事 上田 昭 (全腎協)
- 同 長 宏 (日 患)
- 事務局長 小林孟史 (全腎協)
- 同次長 梅崎園子 (心臓病)
- 同 中野佳子 (全交災)
- 同 古川圭助 (日 患)
- 会 計 梅本タカ子 (互療会)
- 幹 事 末永裕雄 (全有協)
- 同 藤瀬 明 (全患協)
- 会計監査 村瀬豊子 (心臓病)
- 同 未定

規約改正

第十二条 (役員及び職員)
 本会に左の役員を置く。な
 お役員は代表幹事若干名、事
 務局長一名、事務局長次長若十
 名、財政部長一名、幹事若干
 名(各構成団体より一名乃至
 二名選出)、会計監査委員二
 名とする。
 第十六条 (会計)
 この会の会計年度は十月一
 日に始まり翌年の九月末日に
 おわる。なお会計規定、細則
 を設けることができる。

(傍点が改正部分)

統一要求

- 一、いのちと健康、医療と福祉の保障を要求しましょう。
 - 二、健康で文化的な生活の保障を要求しましょう。
 - 三、病気や障害を理由にした首切りをなくし、雇用の促進を要求しましょう。
 - 四、労働災害、職業病の総合的な補償制度の確立を要求しましょう。
 - 五、安心して病気の治せる民主的権利の保障と平和な社会を要求しましょう。
- (第五回大会の決定)

大会宣言

第六回全患連大会は、過去 医療全般への締めつけへと公
 一年の運動を総括し、その教 然と追ってきました。いまこ
 訓をもとに八〇年代に飛躍す ぞ私たちは、この理不尽な挑
 る決意と希望をこめて開かれ 戦に結束して立ち上らねばな
 ました。 りません。

国民のくらしといのちを危 すでに私たちはこの数年こ
 機にさらして、なおかつ軍事 大國にのし上ろうという政治
 の動向は、福祉は聖域では ないが、防衛は聖域だ”とい
 う政府の言明に代表されるよ 体とともに連帯して立ち向
 うに、健康保険の改善とそれ 化を阻止し、とくに日患同盟
 に運動する老人医療費の有料 化を阻止し、とくに日患同盟
 化 結核対策の公費切り下げ、 を中心にした全患連の統一
 そしてそれを起点にした公費 動によって、結核対策の後退
 ます。そしてその成功を期し

て、響いなければならぬ
 患者が運動しなければならぬ
 い”という日本の矛盾の克服
 に全力をあげます。

全患連第六回大会は、とく
 にその点に留意し、その原点
 である要求実現を基盤にした
 組織にとりくむことを、大会
 の名において高らかに宣言し
 ます。

一九八〇年十一月二十三日
 全国患者団体連絡協議会
 第六回大会

(資料)

	会 員 数	新分担金	機関誌部数
互療会	3,000人	60,000円	40部
全交災	400	24,000	100
全腎協	22,000	440,000	60
心臓病	4,900	98,000	26
全有協	150	12,000	43
全患協	8,500	170,000	150
日 患	15,000	300,000	356
C O	30	12,000	0
(個人)	-	(年額)	230
合 計	53,980	1,116,000	1,005

80年度収支決算報告

(79. 10~80. 9)

	科目	予算	決算	増減	備考
収入	繰入金	8,283	8,283		
	分担金	1,101,960	988,280	- 113,680	加盟団体の分担金
	購読料	1,716,000	1,215,580	- 500,420	「かんじやと医療誌」代1,005部、滞納分前年度分含む
	募金・寄付	436,677	169,590	- 267,087	
	資料収入	400,000	0	- 400,000	
	雑収入	122,080	5,026	- 117,054	銀行利子、資料代など
	合計	3,785,000	2,386,759	- 1,398,241	
支出	大会開催費	70,000	0	- 70,000	第5回大会開催費用は前期で執行
	諸会議費	20,000	7,500	- 12,500	幹事会などの費用
	機関紙印刷費	1,430,000	782,216	- 647,784	47号より53号まで
	印刷費	30,000	70,800	+ 40,800	幹事会、展望委員会関係
	通信発送費	30,000	30,595	+ 595	会議開催連絡、誌代の請求など
	事務局諸費	30,000	52,560	+ 22,560	資料の作成、アルバイト料、事務用品
	役員行動費	200,000	245,783	+ 45,783	三役の行動費
	人件費	1,530,000	1,190,000	- 340,000	(S.54.10~S.55.4) 1ヵ月(170,000円)
	雑費	20,000	1,870	- 18,130	
	予備費	10,000	0	- 10,000	
	借入返済費	415,000	305,745	- 109,255	白書会計に返済分
	合計	3,785,000	2,687,069	- 1,097,931	
			△ 300,310		

81年度予算

(80. 10~81. 9)

	80年度予算(円)	81年度予算(円)	差引残高(円)	備考	
収入	繰入金	8,283	0	- 8,283	
	分担金	1,101,960	1,238,520	+ 136,560	前期未納分ふくむ 122,520円
	購読料	1,716,000	1,410,690	- 305,316	1,100×110×11 前期未納入分ふくむ 79,690円
	募金寄付金	436,677	200,000	- 236,677	各団体、個人の寄付
	資料収入	400,000	50,000	- 350,000	図書売上げ手数料と広告料
	雑収入	122,080	20,480	- 101,600	
	合計	3,785,000	2,919,690	- 865,310	
支出	大会諸会議費	90,000	86,000	- 4,000	大会、幹事会、その他会議費
	機関紙印刷費	1,430,000	1,878,805	+ 448,805	前期滞納分と「かんじやと医療誌」印刷代
	印刷費	30,000	65,000	+ 35,000	諸資料の印刷費
	通信発送費	30,000	49,830	+ 19,830	会議連絡費、郵送料、電話代など
	事務局諸費	30,000	42,000	+ 12,000	会議準備、事務用品費など
	役員交通費	200,000	246,800	+ 46,800	大会、幹事会、交渉の交通費
	人件費	1,530,000	33,000	-1,497,000	大会、決算準備のためのアルバイト料
	雑費	20,000	10,000	- 10,000	
	予備費	10,000	98,690	+ 88,690	
	借入返済費	415,000	409,565	- 5,435	白書会計などへの返済
	合計	3,785,000	2,919,690	- 865,310	

八〇年度の会計収支と諸帳簿等について厳正に監査した結果、きびしい状況の中で間違いなく執行された事を認めます。とくに「かんじやと医療」誌代金の回収を重視してとり

八〇年度の会計収支と諸帳簿等について厳正に監査した結果、きびしい状況の中で間違いなく執行された事を認めます。とくに「かんじやと医療」誌代金の回収を重視してとり

八〇年度会計監査報告

記します。

一九八〇年十一月十七日

全国心臓病の子供を守る会

村瀬 豊子

全国職業性有害物障害者協議会

青木 七郎

全国患者団体連絡協議会

㊟

全患連 大会決議をもって国会に要請 郵便・健保改悪許さず



大会決議をもって郵便・健保で国会に要請する全患連代表

全患連は十一月二十三日の第六回定期大会で採択した特別決議「健康保険と公費医療改悪ならびに郵便料金値上げに反対する決議」をもって、臨時国会閉会日の十一月二十五日、参議院通信委員会、社会労働委員会の各党理事などに要請しました。

この要請行動には小林事務局長をはじめ役員、各団体代表ら六人が参加、参議院議員会館内の各議員室を訪問、通信委員長の福間知之議員、理事の長田裕昭各議員と白木義一郎、山中郁子、青島幸男議員らにたいして

郵便料金の値上げ反対と低料率三種料金の据え置きを要請しました。またこの日、通信委員会が開会中で、議員には直接面会することはできませんでしたが、各秘書に患者、障害者が郵便に依存する度合いが強いこと、今回の郵便料金値上げが大幅であり患者、障害者の生活にあたる影響が大きいこと、第三种料金の値上げが各団体の機関紙発行に大きな打撃をあたえること、とくに低料三種の値上げは国際障害者を前に許されないことなどを強く訴えました。

し、同趣旨の要請をおこないました。

臨時国会は十一月二十九日に閉会しましたが、結局、郵便料金は原案とおり(第三種については郵政審議会で値上げ幅を下げるよう再審議、健保法は政府原案や先の通常国会での四党合意を大幅に修正して可決成立しました。

障害年金改正をすすめる会 年金を権利明確に 受ける権利明確に 各団体代表者会議ひらく

障害年金改正をすすめる会では十一月十六日、各団体代表者会議を開き、この一年間の運動を総括し、新年度の統一要求や運動のすすめ方などを話し合いました。



代表者会議の閉会后、社会保険労務士の渡辺清さんから新年金法の解説がおこなわれた。

会議は午後一時すぎから新宿農協会館で開かれ、十三団体から二十五人の代表が参加し熱心な討議が行なわれました。佐々木事務局長の活動報告では「社会保障、福祉をめぐる情勢のけわしい中で障害年金改善の運動に取り組んできた」ことが報告され、①年金シンポジウム②国会請願署名、募金運動の取り組み③年金法改正の早期成立をめざす運動④厚生省交渉⑤組織の整備など具体的な活動の総括があり、これを承認しました。また年金改正のための統一要求を決めたあと、吉本哲夫会長(障全協)ら新役員十三人(一部未定)を選んで代表者会議は方針では「国際障害者年にむけ閉会となりました。」

運動の 交流広場

全国初の行政訴訟で勝つ 補償を認める

川島さん・鉛中毒さかのぼり

民法六部(越山安久裁判長)は、十一月十九日、川島さんの訴えを全面的に認め、東京・中央労働基準監督署の処分取り消しを命じる判決を下しました。

川島さんは、昭和二十一年に毎日新聞社に入社以来活版の植字工として、鉛を取り扱う業務に従事してきました。昭和四十二年頃から発熱、頭痛、不眠、腹痛、倦怠感などの全身症状に苦しめられ、働くこともできなくなりました。そして、昭和四十五年十月から四十六年七月まで会社指定の日本医科大学付属病院(日医大病院)で受診して「うつ状態」の診断で入院治療を受けましたが回復せず、四十六年七月水山ドセルメント病院(水山ド病院)に転院、検査の結果、慢性鉛中毒と診断され、鉛中毒症の治療を現在も続けられています。

川島さんは、「自分の病気が鉛作業に従事して罹った鉛中毒症だ」として、労働基準監督署に労災保険法の適用を申請しました。しかし、労働基準監督署は、水山ド病院に転院した四十六年七月一日以降は業務に起因した慢性鉛中毒と認め、労災保険給付を支給し、四十六

年七月十日以前の日医大病院受診、治療した期間については、鉛中毒の検査さえ行なわれていない日医大病院の検査診断をもとに「労災認定基準の検査数値を満たさない」との理由で、労災保険給付の不支給処分をしたのです。

これに対して川島さんは、四十六年七月十日以前についての不支給処分を不服として、審査請求……再審査請求をしてきましたが、一年十一月二十九日に行政訴訟を起し、たたかってきました。

医療改善・予算獲得で

全患協が統一行動

水山ド病院時の症状について、「基本的には同一症状であり、これを全体としてみるならば、継続的・一体的なもの」と認定し、「認定基準は、発病時期までを確認する基準としての機能をもつものではないことは明らかである」として、鉛中毒の検査も十分とはいえない日医大病院当時の「検査数値が労災認定基準を満たさないので業務上の鉛中毒を満たさない」との主張を全面的に認めました。

この裁判の争点は、「業務に起因する鉛中毒症はいつからだったのか」ということであり、さか上つて労災保険を認めよというものでした。

この裁判の争点は、「業務に起因する鉛中毒症はいつからだったのか」ということであり、さか上つて労災保険を認めよというものでした。

職業病の慢性鉛中毒症に罹り長い間休業療養を余儀なくされている川島幸男さんが、「労災認定される以前の症状も業務に起因した鉛中毒症だった」として、労働者災害補償保険法(労災保険法)にもとづく療養補償給付の不支給処分取り消しを求めてい

全患協は去る十月十二日より五日間にわたって、十三支部代表による昭和五十六年度予算獲得と医療改善統一行動を行ないました。

ハンセン氏病療養所関係予算は既に大蔵省に提出されており、五十六年度概算要求の全額を認めさせるため、全患協と施設長は一体となって十月中旬に、大蔵省に要請：大蔵省の回答「概要」は「五十六年度国債の発行額を二兆円減額しなければ昭和六十年度には赤字国債が元金や六十年度の返済に追われる。したがって、国債を抑えた場合の歳入と歳出を見ると財政は苦しくな

る。それで総点検せざるを得ない。福祉といえどもやむを得ない。但し本当に不自由な障害者には手厚くしてやりたい」ときびしい大蔵省の回答でした。

臨時国会も十二月二十九日で閉会され、十二月下旬は愈々五十六年度政府予算が決まる時期を迎え、全患協は全力を挙げて厚生省、行政管理庁、国会議員加藤の先生に對し、全患協(八、五〇〇名)連帯の要請及びハガキ陳情、電報による要請活動に取り組んでおります。

全患協は、東京が八年前に統一と団結によって総会が開かれたこと、愛知が中部六県の統一組織を結成したこと、広島が全交災総会を開催できる力量をつけるまでに組織拡大ができたこと、福岡大牟田患者会が脱会したが熊本水俣労災患者会が加盟したことなどが報告されました。そして情勢のきびしさを確認し、それに対応する方針を明らかにする中で共同闘争、他団体との連帯を強化していくことを決定し、藤田恵一会長ら新役員を選出して閉会しました。

全患協は、東京が八年前に統一と団結によって総会が開かれたこと、愛知が中部六県の統一組織を結成したこと、広島が全交災総会を開催できる力量をつけるまでに組織拡大ができたこと、福岡大牟田患者会が脱会したが熊本水俣労災患者会が加盟したことなどが報告されました。そして情勢のきびしさを確認し、それに対応する方針を明らかにする中で共同闘争、他団体との連帯を強化していくことを決定し、藤田恵一会長ら新役員を選出して閉会しました。

全患協は、東京が八年前に統一と団結によって総会が開かれたこと、愛知が中部六県の統一組織を結成したこと、広島が全交災総会を開催できる力量をつけるまでに組織拡大ができたこと、福岡大牟田患者会が脱会したが熊本水俣労災患者会が加盟したことなどが報告されました。そして情勢のきびしさを確認し、それに対応する方針を明らかにする中で共同闘争、他団体との連帯を強化していくことを決定し、藤田恵一会長ら新役員を選出して閉会しました。

全患協は、東京が八年前に統一と団結によって総会が開かれたこと、愛知が中部六県の統一組織を結成したこと、広島が全交災総会を開催できる力量をつけるまでに組織拡大ができたこと、福岡大牟田患者会が脱会したが熊本水俣労災患者会が加盟したことなどが報告されました。そして情勢のきびしさを確認し、それに対応する方針を明らかにする中で共同闘争、他団体との連帯を強化していくことを決定し、藤田恵一会長ら新役員を選出して閉会しました。

全患協は、東京が八年前に統一と団結によって総会が開かれたこと、愛知が中部六県の統一組織を結成したこと、広島が全交災総会を開催できる力量をつけるまでに組織拡大ができたこと、福岡大牟田患者会が脱会したが熊本水俣労災患者会が加盟したことなどが報告されました。そして情勢のきびしさを確認し、それに対応する方針を明らかにする中で共同闘争、他団体との連帯を強化していくことを決定し、藤田恵一会長ら新役員を選出して閉会しました。

厳しい情勢に 共闘を重要視 全交災12回総会開く

全交災は十一月三十日、広島市比治山の社会福祉会館で、九十七名が参加して第十二回定期総会を開催しました。

総会では、共産党徳毛広島県議、社会党大原孝衆院議員のあいさつをいただき、全患連など八十五通の祝電・メッセージが披露されました。この後、広島新婦人の会淡路さんから日刊自動車新聞中国支社での不当配転に対する訴えがありました。

加盟 各会 のご協力を訴えます

事務局長 小林 孟 史

わたしは、さきの第六回定期
大会で山本前事務局長のあとを
引き継ぎ、今年度から新たに事
務局長の大役をお引き受ける
ことになりました。またこの大
会では、事務局を従来の日患同
盟からわたしの所属する全腎協
に移すことも決めました。

全腎協はこの数年、会員数が急
速に増え、全患連加盟団体の中
では最も大きな組織になってい

直にいつてかなりの負担です。
最近の物価高騰、公共料金の
相次ぐ引き上げなどで各団体と

その意味では、事務局、事務局
長の大役を引き受けるには、卒
果たすべき役割はますます大
きくなっています。

なか、準備会の段階から永年
にわたって事務局を支えてき
下さった日患同盟にたいし厚く
感謝し、今後もういっそうのご支
援、ご協力をお願いします。

も財政的な困難は大きく、その
必要性は十分理解できても、全
患連の専従体制を支えていくこ
とは現実には極めて難しい状況
です。一方で、国際障害者年を
前にしてその目的に逆行する最
近の福祉切り捨ての傾向が強ま
る中で、全患連などの患者運動

全国患者団体連絡協議会加盟組織

〈五療会〉

〒105 港区西新橋3-15-10原色版印刷内
☎03 (433) 1641

〈全国交通労働災害対策協議会〉

〒171 豊島区西池袋1-4-5
☎03 (982) 7361

〈全国腎臓病患者連絡協議会〉

〒161 新宿区下落合3-15-29 田沼ビル(第二)
☎03 (952) 5340

〈全国心臓病の子供を守る会〉

〒101 千代田区神田北乗物町17 北乗ビル
☎03 (256) 8424

〈全国ハンセン氏病患者協議会〉

〒189 東村山市青葉町4-1-10
☎0423 (94) 1571

〈全国職業性有害物障害患者協議会〉

〒171 豊島区西池袋3-17-18 清宮荘8号
☎03 (986) 5938

〈日本患者同盟〉

〒180-04 清瀬市松山2-13-12
☎0424 (91) 0058

〈慢性一酸化炭素中毒患者会〉

〒151 渋谷区千駄ヶ谷1-31-5代々木病院内
☎0493 (24) 1293 後藤苑

事例を通して複雑な諸制度を解説した待望の指針書!

医療福祉相談百問百答

● 児島美都子・大野勇夫 編
A5判/370頁/定価1,800円

医療福祉やこれと関連深い分野の現場で実際に相談活動に携っている方々の共同執筆により、多くの事例を通していろいろんだ諸制度をわかりやすく解説。さまざまな法制度を駆使して患者家族のかかえる種々の社会問題の解決をはかるための格好の指針書。
〔内容〕 婦人・母子の福祉 / 児童の福祉 / 生活・職業の保障 / 医療の保障 / 災害の補償 / 身体障害者の福祉 / 精神障害者の福祉 / 老人の福祉 / 法律・離婚などの相談

〒151 東京都渋谷区代々木2-27-4

中央法規出版

☎(03)379-3861 振替東京7-23057